●**団地日曜朝市 28日** この日は午前9時から開店 1時間で店じまい 冬野菜の王様は何ととっても大根です。長いもの丸いもの形は違いますが、やはり大根は野菜の王様ですね。朝市は昨年6月から始まって今回で8回目の取り組みです。自治会の役員さんは、里山さんは種類も多く美味しいと評判がいいですよとおっしゃっていました。いつもは午前8時開店でしたが寒さの連続で少し8時は無理との判断で今回は9時の開店でした。わずか1時間で完売となりました。もちろん準備した野菜も少なめでしたが、なかなかの売れ行きでした。皆さんは市場まで出かけなくても足元で購入出来て、何よりも新鮮なのが大変うれしい、サクサクと非常においしいと口をそろえて喜んでいただきます。こんな声が聴かれると次にも朝が早いけれど頑張ろうと励まされます。

●**木津川展 前半が27日から始まった 後半は4日から** 展示に加えて野鳥観察会や連タコつくりとタコあげなどの屋外の取り組みも行われました。25団体の展示発表があつた狭い木津川流域センターに展示されています。前半はわずか三日間でしたがリピーターの皆さんに加えて新顔の皆さんも数多く参加いただき、かなり幅広い年齢層と地域から参加していただいています。後半は3月4日から三日間の予定です。後半も午前10時から15時までの展示です。広い駐車場もあります。

●**地域力再生プロジェクト最後の追い込みに** 2015年度の地域力再生プロジェクト事業交付金は総額300万円の事業(人件費は認められません)として承認されています。竹蛇籠の講習会と設置 木津川植物写真撮影、オオムラサキ観察棟の設置の3本柱です。完成期日は3月20日と設定して取組を進めてきました。残る作業は決算書類と事業のまとめや記録冊子等報告書作成です。木津川植物調査観察での撮影では約500枚のスライドが成果物にまとめられます。竹蛇籠関係では約80頁の原稿が整ってきました。オオムラサキの関係は里山農園付近の自然記録として編集中です。桜谷先生にこれまでご指導いただいた提案や資料などを集約したものになり、私たちが確認してきた植物や生き物などの写真もしっかり取り入れるつもりです。ここでまとめてみますと小さな普賢寺の谷にこれほど多様な生き物が存在出来る地域であること、非常に豊かな環境を維持していること、これが即ち自然であつて、人工的な手を全く加えないで存在しているすばらしさを改めて実感しています。しかしその素晴らしさをしっかり公表していくこともまた、大切な役割でもあることを、心配しながら気にしているところです。

●**第20回自然と環境講演会 講師確定 乞ご期待** 先の週刊ニュース604号でもご案内いたしました。今回は地球温暖化問題というとても大きな課題を中心に据えました。全地球規模で測定されている測定点在日本では6か所しかないということです。その一つが山城町の山に設置されているので、その技術員さんからお話を聞くことができます。大変貴重なお話だと思われまふ。ぜひともご参加ください。また、木津川に竹蛇籠の設置という里山の会としては身に余る巨大な取り組みを実行できました。その施設を使って研究頂いた成果を竹門先生や学生さんからもお聞かせいただきます。苦しい重労働を乗り越えた結果からその成果を知り確信を深め、やり遂げた成果を自らのものにするいいチャンスです。多くの皆さんのご参加をお願いします。

●**里山の会結成20周年記念事業 式典と記念講演 祝賀会骨子決まる** 3月の第1回の事務局会議で4月23日に開催する結成20周年記念イベントの内容を議論しました。企画内容は記念式典と記念講演、祝賀会の3部として概略を確認しました。式典では功労者表彰についての基準を検討しました。祝賀会はシンプルで楽しい時間に、そして里山の会らしいものとする事になりました。招待者や案内者は、本会会員と顧問、特別代表、友好団体、講演などご指導いただいた講師の方々への案内が確認されました。20年積み重ねてきた実力が発揮され新しい出発にあたる意気高い取り組みになるよう頑張ろうとなりました。

●**全会員の登場で結成 20 年記念会誌の発行を** 原稿締切 3 月 20 日 1996 年 5 月に任意団体として発足して以来 20 年が経過しました。そして 1 年間に春と秋に機関誌「里山の自然」の発行を続け次号は 40 号に到達します。2 月 20 日から原稿集めが始まっています。会誌 40 号は特別に意義のある記念号となるものです。すべての会員さんが登場していただくことで 20 年の節目とすると目的を明確にしました。250 人の皆さんが寄稿いただきましたあかつきには特集から特別号として別冊発行も視野に入っています。応募原稿のメインテーマは、「私と里山の会」として 20 年間での出来事や感想や期待をお願いいたします。またそれ以外に「私と〇〇〇〇〇」（丸の部分は趣味とか余暇利用とか健康とか農園活動とか自然観察会等各位がお気づきによって題目を変化させて気楽をお願いいたします。奮ってご寄稿をお願いいたします。締め切り日は 3 月 20 を予定しています。鉛筆書きでもワープロでもいい方法でお書きください。ご寄稿をお願い致します。

●**関西元気な地域づくり交流会今年も発表 3 月 14 日 近畿地方整備局主催** 昨年は何が何のために開催されるのか分からずに応募しました。その結果三分科会に参加発表してスマイル賞を受賞しました。今回はプレゼンテーションの内容とポスター発表の解説についても評価さて表彰が行われるようです。里山の会では竹蛇籠の講習会と木津川本川に設置した結果を発表します。そしてオオムラサキ観察会と産卵現場に立ち会えた奇跡的な出合いを報告する予定です。そして里山の会の課題についても発表する予定にしています。参加費は無料です。申し込みが必要です。希望者は里山の会事務所までご連絡ください。

●**淀川河川公園地域協議会 3 月 4 日 13:30～上流域センター(伏見三栖閘門)上流域センター** 過日 28 日に河川レンジャとして淀川河川事務所公園課から説明をいただきました。今回は一般参加者も傍聴可能ということで参加者募集が行われています。翌日という開催日ですが、今回は三川合流点で拠点施設が建設され、来年 3 月にオープンする予定なので、その施設概要や運営方法などについて具体的な説明がされると思われます。孫の代まで使用される建物なので、できるだけ多くの意見を提案しておくことが大事と思います。ぜひお越しください。午後 1 時 30 分からとされています。

●**カスミサンショウウオ調査観察会 11 日事前調査 12 日本番観察会** 両日とも桜谷先生が出席予定です。2007 年にカスミサンショウウオの卵囊 8 ペアを発見し、手足が出てくるまで観察ができました。それ以後環境が大きく変化したのか発見できていません。人間が地球に生まれる前から今日まで生き延びてきた生き物ですので、きっとどこかで生命をつないでいると信じています。今年は普賢寺の谷のどこかで生きていると思いますので、事前調査を含めて二日間みっちり探索してみます。なかなか簡単に発見できるものではありませんが、皆さんのご協力があれば再発見が可能だと思います。ぜひお越しください。集合は二日間とも普賢寺小学校前で、午前 10 時としています。弁当長靴手袋帽子雨具などのご用意をお願いします。もちろん服装は汚れてもいいものをご用意ください。

●**里山農園 春野菜の植えつけにご参加を** (ジャガイモ 300 株の植付)

集合は 3 月 13 日(日)10 時里山農園または普賢寺小学校前です。季節は 3 月温暖の変化が激しく 4 月の陽気も感じられる季節になりました。そして関西では春を呼ぶ一大行事のお水取も始まりました、普賢寺地域ではお水取りが終わるまでに植付けとされています。昨年は小さなイモでしたので、今年は大きなジャガイモが収穫できるよう間隔を広げて植えつけてみます。工夫しながら作物の生育を楽しむのも結構いい目標になりますね。近頃はジャガイモの植付け体験などは公募されないの少ないチャンスです。牡丹鍋も準備出来れば、ご試食をしましょう。